

高知県感染症発生動向調査（週報）

2019年 第13週 （3月25日～3月31日）

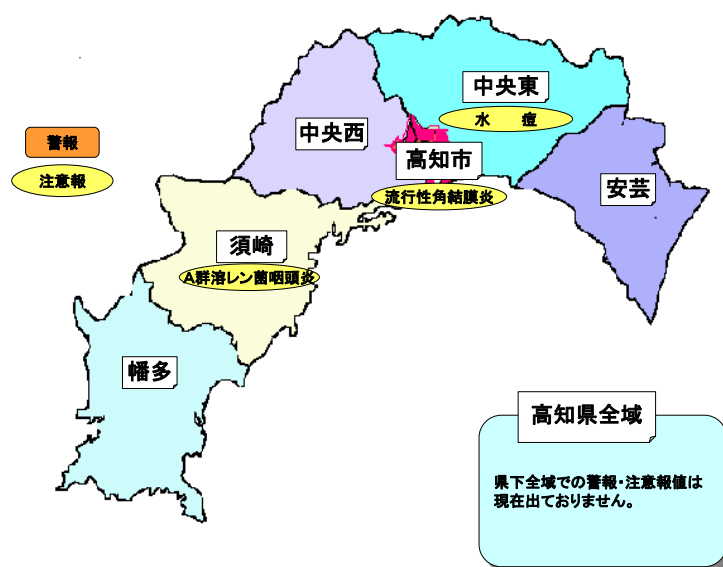
★県内での感染症発生状況

インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位5疾患）

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎	→	4.93	安芸で急減していますが、須崎で急増、中央東、中央西で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	2.60	幡多で急減していますが、安芸で急増し、須崎では注意報値を超えています。
RSウイルス感染症	↗	1.07	須崎で急減、中央西で減少していますが、中央東で急増、県全域、幡多、高知市で増加しています。
水痘	↗	0.47	高知市で急増、県全域で増加し、中央東では注意報値を超えています。
伝染性紅斑	↑	0.30	県全域、高知市で急増しています。
突発性発疹	↗	0.30	中央東、中央西で急減していますが、安芸、須崎、高知市で急増、県全域で増加しています。

↑ : 急増 ↗ : 増加 → : 横ばい ↘ : 減少 ↓ : 急減

★地域別感染症発生状況



【感染症予防の基本】

手洗い

感染症予防の基本は、手洗いです。帰宅時や調理の前後、食事前、トイレ後など石けんと流水で十分に手を洗いましょう。



予防接種

感染症にかからないための助けになります。定期予防接種の計画を立てましょう。



★県内で注目すべき感染症（注意点や予防方法）

○感染性胃腸炎に気を付けて！

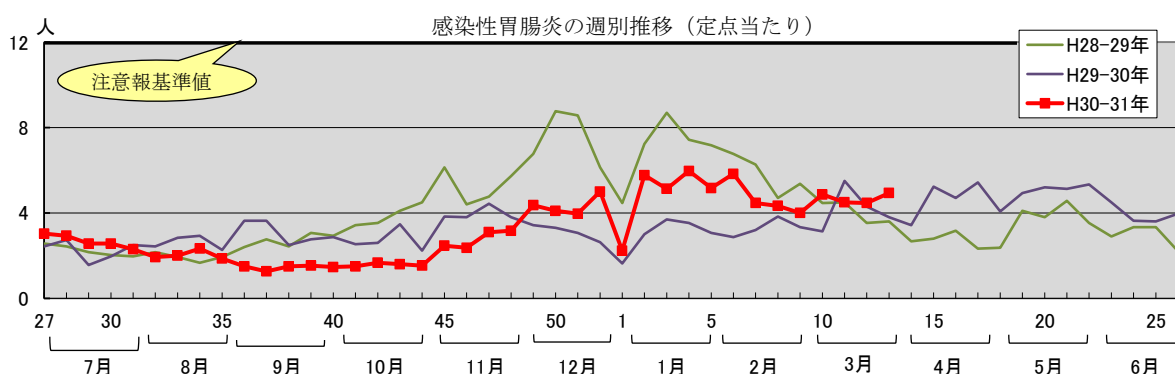
定点医療機関からのホット情報では、ノロウイルス 10 例、ロタウイルス 14 例、細菌のカンピロバクター属菌 2 例、病原性大腸菌 1 例、病原性大腸菌とカンピロバクターの同時検出 1 例の報告があります。

この病気は、ウイルス又は細菌などの病原体により嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。

潜伏期は、ノロウイルスは 12～48 時間程度、その他のウイルスは 24～72 時間程度、細菌は数時間～5 日程度です。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、1 年を通じて発生していますが、特に冬場に流行します。発症してから通常 1 週間以内に回復しますが、症状消失後も 1 週間程度、長い時には 1 ヶ月程度便中にウイルスの排出が続くことがあります。保育園や幼稚園、学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることもあり注意が必要です。

細菌による感染性胃腸炎のほとんどの場合、患者との接触（便など）や汚染された水、食品によって経口的に感染します。



< 予防方法 > 手洗いが有効です

- ・帰宅時や調理・食事前、トイレの後には石けんと流水でしっかりと手を洗いましょう。
- ・ウイルスによる感染性胃腸炎では便や嘔吐物を処理する時は気を付けましょう。

感染した人の便やおう吐物には直接触れないようにし、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、次亜塩素酸ナトリウムまたは、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用方法を確認したうえで、キッチンペーパーなどを使用して処理しましょう。処理後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

- ・細菌による感染性胃腸炎の予防対策を心がけましょう

食中毒の一般的な予防方法【食中毒予防の三原則】食中毒菌を①付けない（洗う・分ける） ②増やさない（低温保存・早めに食べる） ③やっつける（加熱処理）です。食品の冷所保存を心がけ、長期保存は避ける、加熱は十分にするなど、日常生活での食中毒予防を心がけてください。

●厚生労働省 「ノロウイルスに関するQ&A」

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kamren/yobou/040204-1.html

●衛生研究所 「高知県ノロウイルス対策マニュアル」

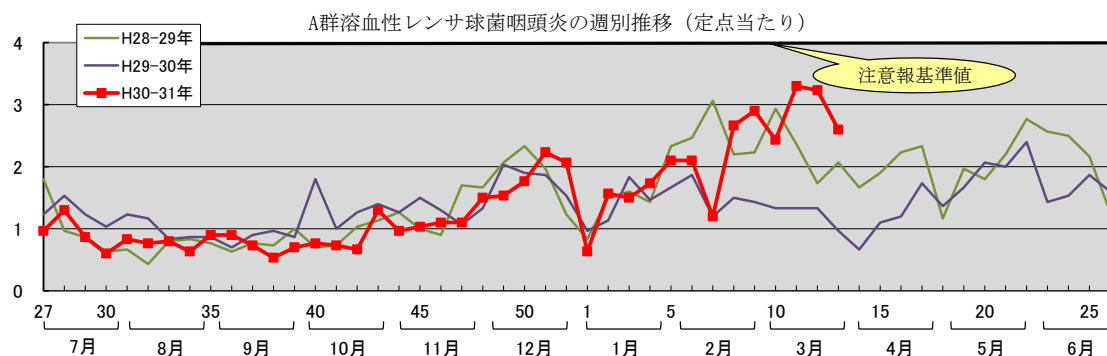
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/norovirus.html>

○A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎に気を付けて！

この病気は A 群レンサ球菌による上気道感染症です。

典型的な症状は、2～5 日の潜伏期を経て、突然 38℃以上の発熱、咽頭痛、苺状の舌などがみられます。

1 週間以内に症状は改善しますが、まれに重症化し、喉や舌、全身に発赤が広がる全身症状を呈することがあります。



<予防方法> 手洗い、咳エチケットが有効です

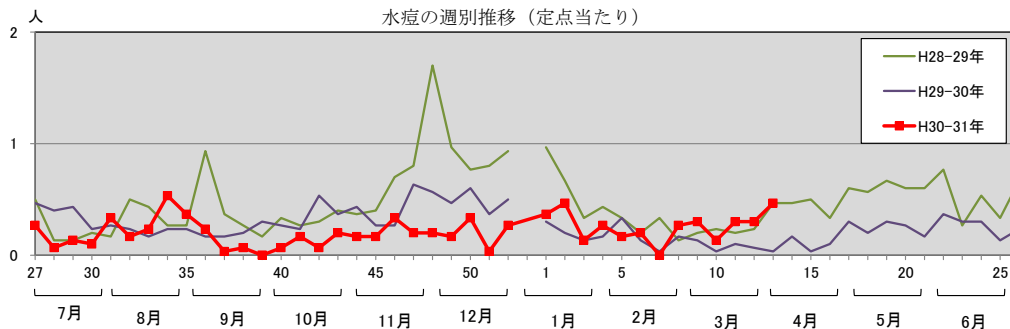
患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛沫感染」あるいは細菌が付着した手で口や鼻に触れる「接触感染」が主な感染経路になります。患者との濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットを心掛けましょう。

○水痘に気を付けて！

水痘は、水痘帯状疱疹ウイルスによる感染症で、一般には「みずぼうそう」と呼ばれています。

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれるウイルスを吸い込むことによる飛まつ感染、水疱や粘膜の排出物に接触することによる接触感染により感染します。

潜伏期間は2～3週間程度で、軽症で終生免疫（一度の感染で生涯、その感染症にはかからない）を得ることが大半ですが、成人では髄膜炎や脳炎などの合併症の頻度が高くなるなど、重症化することもあります。またウイルスが治癒後、体内に潜伏しており、何年も経て「帯状疱疹」として再発することもあります。



<予防方法>

有効な予防対策は予防接種です。2014年10月1日から水痘ワクチンが定期接種となっています。

また、水痘患者に接触した場合でも、72時間以内にワクチンを接種すれば発病を予防したり、症状を軽減することが期待できるとされています。

【学校感染症】

水痘は学校保健安全法（同法施行規則第19条、第20条）では、出席停止期間の基準が「全ての発疹が痂皮化するまで」と規定される学校感染症（第2種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるときは、この限りでないと規定されています。

※ 学校等欠席者・感染症情報システム：県内小中高等学校における疾病別患者数情報システム



☆ダニの感染症（日本紅斑熱・SFTS）に注意！

「日本紅斑熱」や「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」は屋外に生息するダニの一種で、比較的大型（吸血前で3～4mm）の「マダニ」が媒介する感染症です。

「マダニに咬まれないこと」がとても重要です。

マダニは、暖かい春から秋にかけて盛んに活動し、この期間に多くの患者発生がみられますが、冬でも発生例が報告されています。暖かくなってきましたので、屋外で活動される場合はマダニ対策を心がけましょう（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。

【マダニに咬まれないために】

長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。

マダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を活用しましょう。

地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。

活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。

ペットの散歩等でマダニが付き、家に持ち込まれることがありますので注意しましょう。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～数週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診してください。受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出てください。

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A（厚生労働省）
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts_qa.html
- 高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
安芸	田野病院小児科	アデノウイルス腸炎 1 例 (4 歳男)
中央東	早明浦病院小児科	hMPV 感染症 11 例 (9ヶ月女、1歳女、2歳男、3歳男、3歳女2人、4歳男4人、5歳男) ノロウイルス感染性胃腸炎 2 例 (11ヶ月女、9歳女) ロタウイルス感染性胃腸炎 1 例 (4歳女) 管内保育園で水痘流行中
	高知大学医学部付属病院小児科	ロタウイルス腸炎 1 例 (3歳男)
	田村こどもクリニック	水痘 2 例 (ワクチン 1 回済み 1 人、ワクチン 2 回済み 1 人 いずれも軽症、同一幼稚園)
高知市	高知医療センター小児科	RS ウイルス感染症 2 例 (1ヶ月男女) ヒトメタニューモウイルス 1 例 (1歳女) アデノウイルス 1 例 (1歳女)
	けら小児科・アレルギー科	hMPV 気管支炎 1 例 (2歳) アデノウイルス咽頭炎 1 例 (5歳) カンピロバクター腸炎+病原性大腸菌 O-25 1 例 (12歳) 病原性大腸菌 O-18 腸炎 1 例 (35歳) ノロウイルス腸炎 2 例 (0歳、67歳) ロタウイルス腸炎 2 例 (0歳、3歳)
	三愛病院小児科	アデノウイルス感染症 1 例 (3歳男)
	細木病院小児科	ノロ 1 例 (2歳男) ロタ 5 例 (1歳男 2人、1歳女、5歳男、6歳女) キャンピロ 1 例 (11歳男)
	福井小児科・内科・循環器科	RS ウイルス感染症 1 例 (1歳女) 伝染性紅斑 1 例 (10歳女) 溶連菌感染症 5 例 水痘 1 例 (8ヶ月女) 胃腸炎が小児～大人まで流行っている
	ふないキッズクリニック	ロタウイルス 1 例 (2歳女)
中央西	くぼたこどもクリニック	アデノウイルス結膜炎 1 例 (1歳男) 感染性胃腸炎 1 例 (9歳女：県外から帰省)
	日高クリニック	ヒトメタニューモウイルス感染症 3 例 (1歳男 2人、3歳男)
須崎	もりはた小児科	ヒトメタニューモウイルス感染症 5 例 ノロ 5 例 ロタ 4 例 カンピロバクター 1 例 百日咳 2 例 (6歳、8歳)
幡多	さたけ小児科	マイコプラズマ 1 例 (7歳女)

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所	
2類	結 核	1	30	80歳代 男	高知市	
		1		80歳代 女		
		1		70歳代 女	中央西	
5類	アメーバ赤痢	1	1	40歳代 男	高知市	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	10	60歳代 男	高知市	
	百日咳		1	53	10～14歳 男	中央東
			1		5～9歳 男	高知市
			1		10～14歳 女	
			1		5～9歳 男	須 崎
			1		5～9歳 男	
			1		5～9歳 女	
			1		10～14歳 男	
1	10～14歳 女					

全国情報は、国立感染症研究所のIDWRを参照してください。
 「国立感染症研究所 IDWR 感染症発生動向調査週報ダウンロード 2019年」
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr-dl/2019.html>

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
13	不明発疹症	発疹,	6	女	須崎	Human herpes virus 7

前週以前に搬入

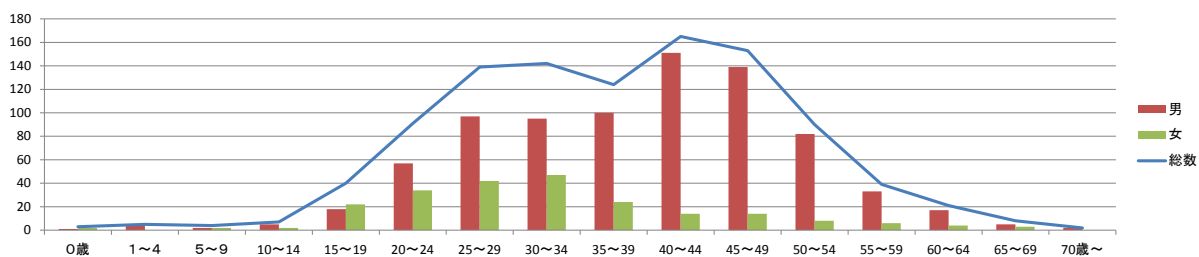
受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
12	-	39℃,	3	男	高知市	Human herpes virus 6 Human herpes virus 7
12	急性肺炎、心不全	咳嗽,肺炎,	1	男	中央東	Rhinovirus
12	気管支炎	38℃,咳嗽,気管支炎,	4	女	中央東	Rhinovirus
12	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	38℃,上気道炎,	13	女	高知市	Streptococcus pyogenes T12
12	下気道炎	40℃,下気道炎,	2	女	幡多	Respiratory syncytial virus A

★県外で注目すべき感染症

○風しんの届出数が多い状態が継続しています

2019年第1週～12週の報告数は1033人となっており（2018年の同時期全国で4人）、94%（974人）が成人で、30歳から50歳代の男性を中心に（男性809人、女性224人）に報告数の多い状態が継続しています。

2019年累積風しん報告数(年齢別・性別)



報告数の多い都道府県は、東京都、神奈川県、千葉県、大阪府、埼玉県以外に福岡県、兵庫県、愛知県、北海道、広島県など首都圏以外の地域からも報告が認められています。

今後、感染が拡大する可能性がありますので、人混みを避けるなど今後さらなる注意・予防に務めましょ

【風しんについて】

症 状 : 発熱、発疹、リンパ節の腫れ
 感 染 経 路 : 患者の咳やくしゃみのしぶきによる飛沫感染および接触感染でヒトからヒトへ感染
 潜 伏 期 間 : 2～3週間程度
 感染性のある期間: 発疹のでる7日前から発疹出現後7日くらいの間

【風しんを疑ったら】

発熱や発疹など風しんに特徴的な症状が現れた方は、必ず事前に医療機関に連絡の上、受診してください。

【予防方法】

- ・風しんの予防、感染の拡大防止には予防接種が効果的です。
風しんの定期接種対象者は、予防接種を受けましょう（1歳児、小学校入学前1年間の幼児の方）
- ・風しんに感染した方の周りに抗体の低い妊婦がいる場合、特に妊娠20週頃まで（妊娠初期）の女性が風しんに罹ると胎児が風しんウイルスに感染し、難聴や心疾患など様々な障害（先天性風しん症候群）をもった赤ちゃんが生まれる可能性があります。妊婦や赤ちゃんを守る観点から妊婦の周りの方（夫、子供及びその他の同居人）は風しんに罹らないように予防に努めましょう。

【風しんの抗体検査について】

県及び高知市は、風しん及び先天性風しん症候群の発生の予防及びまん延防止を図るため、高知県内在住（住所を有する者）の妊娠を希望する女性やその家族などに対して無料の風しん抗体検査を実施しています。抗体検査を実施する医療機関により検査受付は異なりますので、受診を希望する医療機関に事前にお問い合わせください（住所を証明する書類（運転免許証や健康保険被保険者証等）を持参ください）。

無料の風しん抗体検査の実施及び抗体検査の委託を受けた医療機関（高知県健康対策課ホームページ）

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130401/fushinkensa.html>

【各医療機関管理者の皆様へ】

（高知県健康対策課 平成30年8月17日付け30高健対第859号「風しんの届出数の増加に伴う注意喚起」より）

- ① 発熱や発疹を呈する患者を診察した際は、風しんに罹っている可能性を念頭に置き、最近の海外渡航歴及び国内旅行歴を聴取し、風しんの予防接種を確認するなど風しんを意識した診察をお願いいたします。
- ② 風しんを疑う患者を診察した際は、確定診断のためのウイルス検査を県衛生研究所で行いますので、直ちに最寄りの福祉保健所又は高知市保健所へ届け出るようお願いいたします。

●風しん Q&A2018年1月30日改訂版(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubellaqa.html>

●風しんについて（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/

●衛研ニュース第20号（高知県衛生研究所）30～50歳代の男性！風しんのことを知っていますか？

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2018101000056.html>

○麻疹に気を付けて！

麻疹については、平成27年3月27日付けで世界保健機関西太平洋地域事務局により日本が排除状態にあることが認定されましたが、その後も海外で感染した患者を契機とした国内での感染の拡大事例が散見されています。2019年第1週～12週の全国の麻疹の報告数は342人と（2018年の同時期全国で14人）前年と比較して多い状態が継続しています。特に、関西地方で麻疹患者数の増加がみられ、今後麻疹患者の移動等により、感染の拡大する可能性がありますので注意してください。

予防にはワクチン接種が有効です。定期接種の対象年齢になったら、予防接種を受けましょう。

【各医療機関管理者の皆様へ】

（高知県健康対策課 平成31年3月4日付け30高健対発第1886号「麻疹発生報告数の増加に伴う注意喚起」より）

- ① 発熱や発疹を呈する患者を診察した際は、麻疹の可能性を念頭に置き、海外渡航歴及び国内旅行歴を聴取し、麻疹の罹患歴及び予防接種歴を確認するなど、麻疹を意識した診療をお願いいたします。
- ② 麻疹を疑う患者を診察した場合は、所在地を所管する県福祉保健所又は高知市保健所に連絡し、確定診断のための県衛生研究所でのウイルス検査を行いますので、直ちに最寄りの福祉保健所又は高知市保健所へご連絡をお願いします。また、麻疹患者と確定した場合は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）第12条第1項の規定に基づき、所在地を所管する県福祉保健所又は高知市保健所へ速やかに届け出るとともに、麻疹の感染力の強さに鑑みた院内感染予防対策をお願いいたします。

●医療機関での麻疹対応ガイドライン第七版 平成30年5月（国立感染症研究所疫学センター）

https://www.niid.go.jp/niid/images/idsc/disease/measles/guideline/medical_201805.pdf

●麻疹について（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/measles/index.html

●麻疹（国立感染症研究所）

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ma/measles.html>

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第13週 平成31年3月25日(月)～平成31年3月31日(日)

高知県衛生研究所

定点名 疾病名	保健所	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(12週)	高知県(13週末累計)		全国(12週末累計)	
											H30/12/31～H31/3/31	H30/12/31～H31/3/24		
インフルエンザ		2	1	3	4	1		11 (0.23)	20 (0.42)	12,320 (2.49)	13,631 (283.98)	1,351,168 (273.02)		
咽頭結核熱			1	5				6 (0.20)	5 (0.17)	1,077 (0.34)	64 (2.13)	12,156 (3.85)		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2	12	42	4	11	7	78 (2.60)	97 (3.23)	7,808 (2.46)	938 (31.27)	89,152 (28.20)		
感染性胃腸炎		2	41	62	8	13	22	148 (4.93)	134 (4.47)	17,471 (5.51)	1,985 (66.17)	225,928 (71.47)		
水痘			7	7				14 (0.47)	9 (0.30)	1,145 (0.36)	112 (3.73)	12,679 (4.01)		
手足口病								()	1 (0.03)	475 (0.15)	14 (0.47)	5,099 (1.61)		
伝染性紅斑				8	1			9 (0.30)	4 (0.13)	1,777 (0.56)	116 (3.87)	24,661 (7.80)		
突発性発疹		2		5		1	1	9 (0.30)	6 (0.20)	1,164 (0.37)	104 (3.47)	12,135 (3.84)		
ヘルパンギーナ								()	()	79 (0.02)	5 (0.17)	683 (0.22)		
流行性耳下腺炎				1				1 (0.03)	()	277 (0.09)	5 (0.17)	3,406 (1.08)		
RSウイルス感染症			4	10	3		15	32 (1.07)	25 (0.83)	1,588 (0.50)	276 (9.20)	16,066 (5.08)		
急性出血性結膜炎								()	()	7 (0.01)	()	73 (0.10)		
流行性角結膜炎				4				4 (1.33)	()	370 (0.53)	22 (7.33)	5,026 (7.22)		
細菌性髄膜炎								()	1 (0.13)	7 (0.01)	1 (0.13)	118 (0.25)		
無菌性髄膜炎								()	()	10 (0.02)	()	124 (0.26)		
マイコプラズマ肺炎				3				3 (0.38)	()	45 (0.09)	39 (4.88)	1,070 (2.23)		
クラミジア肺炎 (オウム病は除く)				1				1 (0.13)	()	2 ()	3 (0.38)	21 (0.04)		
感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)			1	5				6 (0.75)	5 (0.63)	184 (0.38)	32 (4.00)	1,023 (2.13)		
計 (小児科定点当たり人数)		8 (3.50)	67 (9.37)	156 (12.92)	20 (6.13)	26 (12.75)	45 (9.00)	322 (10.13)		45,806	17,347 (404.63)	1,760,588		
前週 (小児科定点当たり人数)		12 (5.25)	61 (8.35)	139 (11.83)	19 (6.32)	16 (7.75)	60 (12.00)		307 (9.78)					

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

第13週

定点名 疾病名	保健所	定点当たり							計	前週	全国(12週)	高知県(13週末累計)		全国(12週末累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H30/12/31～H31/3/31				H30/12/31～H31/3/24			
インフルエンザ		0.50	0.09	0.19	0.80	0.25		0.23	0.42	2.49	283.98	273.02			
咽頭結核熱			0.14	0.45				0.20	0.17	0.34	2.13	3.85			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.00	1.71	3.82	1.33	5.50	1.40	2.60	3.23	2.46	31.27	28.20			
感染性胃腸炎		1.00	5.86	5.64	2.67	6.50	4.40	4.93	4.47	5.51	66.17	71.47			
水痘			1.00	0.64				0.47	0.30	0.36	3.73	4.01			
手足口病									0.03	0.15	0.47	1.61			
伝染性紅斑				0.73	0.33			0.30	0.13	0.56	3.87	7.80			
突発性発疹		1.00		0.45		0.50	0.20	0.30	0.20	0.37	3.47	3.84			
ヘルパンギーナ										0.02	0.17	0.22			
流行性耳下腺炎				0.09				0.03		0.09	0.17	1.08			
RSウイルス感染症			0.57	0.91	1.00		3.00	1.07	0.83	0.50	9.20	5.08			
急性出血性結膜炎										0.01		0.10			
流行性角結膜炎				4.00				1.33		0.53	7.33	7.22			
細菌性髄膜炎									0.13	0.01	0.13	0.25			
無菌性髄膜炎										0.02		0.26			
マイコプラズマ肺炎				0.60				0.38		0.09	4.88	2.23			
クラミジア肺炎 (オウム病は除く)				0.20				0.13			0.38	0.04			
感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)			1.00	1.00				0.75	0.63	0.38	4.00	2.13			
計 (小児科定点当たり人数)		3.50	9.37	12.92	6.13	12.75	9.00	10.13			404.63				
前週 (小児科定点当たり人数)		5.25	8.35	11.83	6.32	7.75	12.00		9.78						

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）

〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎1階）

TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869

この情報に記載のデータは2019年4月1日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。

病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ定点・小児科定点・眼科定点)：平成31 年第13 週

高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2019年 第13週)

